

令和6年度6月定例教育委員会議事録

【日時】

令和6年6月19日（水）

開会 午後1時30分

閉会 午後4時00分

【会場】

辰野町民会館 104 学習室

【出席者】

10名

(辰野町教育委員会)

教育長	宮澤 和徳
教育長代理	飯澤 隆
教育委員	垣内 由佳
教育委員	関 政彦
教育委員	萩原 多恵子

(事務局関係)

学びの支援課長	福島 永
学校支援課長	小澤 靖一
学校支援課長補佐	宮原 隆史
学校教育係長	翠川 俊一
教育総務係	中沢 大輔

【傍聴者】

0名

【次第】

1 議事

- (1) **【非公開】** 準要保護援助費の認定について
- (2) **【非公開】** 区域外就学の認定について
- (3) 県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について

2 協議

- (1) **【非公開】** 学校の様子及び運営上の諸課題
- (2) 上伊那市町村教育委員会連絡協議会総会・研修会について
- (3) その他

3 報告事項

- (1) 6月定例町議会一般質問報告
- (2) 市町村教育委員会連絡協議会報告
- (3) その他

○開会

1 開会宣言

2 会期の決定

- ・会期については1日とする。全員異議なし。

3 議事録の承認

- ・承認。

4 宮澤教育長挨拶

こんにちは。初夏の風物詩「ほたる祭り」も好天に恵まれて、多くの賑わいをもたらしました。蛍の発生数こそ、ここ数年を大きく下回っていましたが、1,000～2,000匹という事で、当初予測されていた500匹を大きく上回って、観光客を満足させていました。週末の歩行者天国では、今年も多くの観光客が繰り出して、原宿以上の賑わいを見せました。15日の「ぴっかり踊り」も、やはり小学生が参加すると盛り上がります。来年度以降も、子ども達の心に残るほたる祭りになればと思います。

例年ですと、関東甲信越の梅雨入りは6月7日だそうですが、今年は2週間近く遅れていて、猛暑が続いています。しかし、今週末辺りから梅雨入りかという予測もありますけれども、災害級の大雨にはならなければ良いなと思います。

さて5月末から6月初め、町内5小学校の運動会が開催されました。天気にも恵まれ、児童主体の運動会となりました。昨年度から半日開催が定着しています。

一方、中学校では、6月から7月は中体連の大会です。この方も、例年になく良い成績を収める事ができました。中でも、陸上男子走り高跳びでは、3年生の石崎君、1m94cmという大会新記録で優勝、私も、この大会1か月前の大会で、石崎君の試技を見ましたが、1m90cmという記録に驚きました。他の部も、多くが県大会や今月末の2回戦にコマを進めています。残念ながら敗れてしまった部活もありますが、僅差で敗れてしまったとお聞きしております。

さて、今日の定例教育委員会では、人事に係る県教委と市町村教委との連絡調整、区域外就学の認定、準要保護援助費の認定、協議として、学校の様子や上伊那教育委員会連絡協議会総会や町教育委員会の研修視察等です。よろしくお願ひします。

5 議事

(1)【非公開】準要保護援助費の認定について

- ・翠川学校教育係長より説明。承認。

(2) 【非公開】 区域外就学の認定について

- ・ 翠川学校教育係長より説明。承認。

(3) 県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について

- ・ 教育人事に関する取り交わしを例年おこなうもの。
- ・ 「了解事項」「覚書」を宮澤教育長より説明。承認。

6 協議

(1) 【非公開】 学校の様子及び運営上の諸課題について

- ・ 宮澤教育長より説明。

資料として『学校の様子及び運営上の諸課題』、『6月校長会資料』を提示。

(2) 上伊那市町村教育委員会連絡協議会総会・研修会について

- ・ 宮原学校支援課長補佐より説明。

『令和6年度上伊那市町村教育委員会連絡協議会総会並びに研修会の開催について』を提示し。日程と内容の確認、参加人数の確認。

- ・ 宮澤教育長より教育委員会視察研修について説明。

資料として『教育委員会視察研修の推移』を提示。

< A委員 >

詳しくは調べていませんが、愛知県の東浦町の緒川小学校で「自由進度学習」というのが、新聞に出ていました。今年、上伊那教育会で視察に行く学校の様です。

< 宮澤教育長 >

「自由進度学習」は、ここ数年で注目もされています。ここ数年で使われてきていますが、関心を持っていますが、難しいものだと思います。上伊那の中では七久保小でやっているものです。県の武田教育長も「自由進度」を言い始めています。

一例挙げて頂きました緒川小学校を参考にさせて頂きながら、そして7月に上伊那教育会で視察に行くという事ですので、次回の7月の教育委員会で報告をして頂いて、決めていければと思います。

(3) その他

なし

7 報告事項

(1) 6月定例町議会一般質問報告

- ・教育長より説明。
- ・「質問1 町教育委員会や学校現場では、ラーケーション制度に対して、どのような認識と評価がされているか。」
(答弁一部) 長野県では、昨年11月に、県教委と長野県PTA連合会との教育懇談会において、県教委担当者は、「先進事例を注視しつつ、導入の効果と影響等について研究して参りたい。」と答えていますが、県内自治体からの問い合わせも特に把握していないという事であり、県内では具体的な動きはまだないと思われます。学校外での体験や探求の学び・活動は良いと思いますが、一方で、この制度を使える家庭と使えない家庭が出てくる事や欠席した間の学校での学習の保障や、学校でのイベントや体験学習等と重なると、家庭でもカバーできないという課題もあります。
- ・「質問2 (ラーケーション制度の) ニーズ調査の実施と辰野版ラーケーション制度を導入する検討を。」
(答弁一部) 長野県内では、具体的な動きはまだなく、辰野町としても、具体的に動き出してはいませんが、町内校長先生の中には、様々な考えもあるようです。まず、6月の町校長会にて、校長先生方の意見や、この種の要望を学校は保護者から受けた事があるか等を聞いてみて、考えたいと思います。

<宮澤教育長>

教育委員の皆様からラーケーションについて、ご意見があればお願い致します。

<B委員>

制度としては不要だと思います。学校を出席扱いにするという事で、親がそれ相応の対応ができれば価値がありますが、多くができないのではないかと思います。

<宮澤教育長>

出席日数というものを気にする親もいますが、今年から高校入試でも調査書から欠席日数は書かなくなりましたので、そうした情報は高校にいきません。

<C委員>

私の感覚では、3日位の欠席ですし、高校入試に欠席日数が記載されない事も知っていました。今でも、どこかに遊びに行くという事で平日休む子どももいます。子ども達は楽しみ過ぎてしまって、大概、周りに喋ってしまっています。先生にいくら家庭の都合と言っても、知ってしまっています。旅行に行くのも知られていまして、有給取得という点でも、子ども達の行事や、高校受験を控える中学3年生のいる家庭は、進路講話だとか体験入学だとかが充実してしまっていて、仕事を休んでいなくてはいけない事も多々あります。そんな訳で、有給休暇もあつという間に無

なくなってしまう。こういった制度ができてお休みをするという子どもが出てくると、連れていく事のできない家庭もありますので、子どもが不憫だと思います。

<D委員>

ラーケーションというのは、この辺の人達にとっては遠い話かなという印象です。働いている人達がどういう気持ちになるかは分かりませんが、あまり馴染まないのではないかと思います。あっても使う人は少ないのではないかと思います。

<小澤学校支援課長>

資料を見ると、土日に休みが取得しづらい産業構造の人達が多いところで、土日に休めず、子どもと休みが被らない家庭が多い地域で採用されていたりします。休日の分散化という事も書かれておりますが。

(2) 市町村教育委員会連絡協議会報告について

- ・宮澤教育長より説明。
- ・資料として『6月市町村教育委員会連絡協議会（報告）』を提示。

(3) その他

<E委員>

一点よろしいでしょうか。ほたる祭りの小学生の出番の時間のリリースがたつの新聞に少し載っていただけで、町のホームページにも、各校に配られたチラシがあるだけで、細かいスケジュールをどこで見たら良いかといった状態でした。

<宮澤教育長>

コロナ過も明けて、ぴっかり踊りも復活して、全体を通して良いお祭りであったという評価にはなりますが、これで「良かった」だけで終わらせてしまうと、大変な事になると思います。ぴっかり踊りも、小学生の参加の仕方も、非常に不評であったと、保護者からの声がありました。やはり出る以上、観客がいて欲しいという思いは当然だと思います。そこも含めて時間配分だとか、やり方を考えて、今回の反省を活かさないと、子ども達はいれば華やかになって、活気づきますが、来年はこのままではいけないと思います。14時頃から金管バンドをやっても人が少ないので、参加の仕方は考えなくてはいけません。

<F委員>

ほたる祭りの件でよろしいでしょうか。2週間お祭りがあって、週末が2回ありましたが、1回目の週末の後にPTAがあって、そこで先生が保護者に、週末に子ど

も達が随分遅くまで残っていて、警察沙汰になったという話をしている、中学生ではなかった様ですが、そこを先生からは話がなかったのですが、「子どもさん達にもしっかり注意してください」という指導が親にありまして、周りの保護者に聞くと 21 時過ぎの最終の電車で帰ってきた中学生もいた様ですが、昨年度までは校外指導部が腕章を付けて、帰宅を促していた様ですが、結局、私服の中学生を見ても正直、中学生なのか高校生なのか分からず、意味がないという事になり、今年はやらないという事が年度初めに決まっていました。21 時過ぎの電車で帰った生徒がいたと聞くとやった方がよかったのか、どうなのか感じました。

<宮澤教育長>

子どもが育つネットワーク委員会が 12 日にあったのですが、この時に伊那警察署の方から、ほたる祭り初日の 22 時に歩行者天国が解除されると、辰野駅前町外の人達が集まって、騒いでいたという話がありました。そこで中学生が巻き込まれたという話はありませんでした。

8 閉会